

歌人のふんどし



他人が無邪気につけたタイトルで連作を詠む。
それが「歌人のふんどし」です。
147名にまるふんどし大交換会をお楽しみください。

逢

夏草ドリームライブ

(お題提供… 黛海里)

夏草や兵どもが集まれば(言葉)があふれてゆく夢のあと
ひまわりに囲まれながら微笑んだ(私はあなただけを見つめる)
かすみ草を添えるみたいに(幸福)な恋でした まだ枯れないでいて
紫陽花もきれいだけど、のその先は聞き飽きました(移り気)なひと
(日だまり)に咲くプルメリア 寒いのは苦手と笑うひとのいたこと
歩くとき百合になれなくてもいいよ(偽り)のないあなたでいいよ

ひとこと ふんどしに要素がいつばいで難しかったですが、楽しかったです！

赤片亜美

なんであいみよん聴いてるの？

(お題提供… 久保工務店)

イヤホンのコードを踏んで漏れ出した曲が『愛を伝えたいだとか』
「え、中田、なんであいみよん聴いてるの？」きみが わたしの 名前を 呼んだ
誰とでも話す完璧な男に初めて話しかけられた中田
入学の日の朝きみに恋をした場所はここです、このすのこです
あいみよんときみが一緒に歌い出す「まじで僕に愛される気あんの？」
「ぼ、僕、いや、俺と一緒に帰んね？」ときみが手渡すイヤホンは赤

ひとこと 締めたふんどしからはみ出した恋。

秋山生糸

3分52秒ぶりの再会

(お題提供… 藤森岬)

On your mark, go! で駆け出す足元に置いてゆきたい自分を置いて
百メートル 息を吸うこの瞬間も南海トラフがひび割れている
AIが進路を決める世界ならただ真っ白く走ればいいね
五百メートル 地球を温めそうなほど高まっていく二酸化炭素
ちよつとした自由をありがとう 女子にしては速いねなんて言葉も許す
千メートル 三分五十二秒ぶりのわたしだ 少し遠くが見える

ひとこと 想像ふくらも楽しいお題をありがとうございました！

麻数

粉っぽい子午線

(お題提供… 柴田瞳)

子午線をなぞり汚れをチェックする義母。サハラ砂漠が整地される
「味わいは地域によって違うんよ」子午線を喰む化物は云う
子午線は死後線、立てば火葬場の時の名残りの灰はこぼれて
ちよつとだけ雑な世界であって欲しい。フリーハンドでズレる子午線
粉っぽいのは劣化だと言われている。この星も多分そろそろ壊れる
(現在地) 北極 (目的地) 南極 距離優先でも此処は通らず

ひとこと 難しい…。でも凄い勉強になりました！楽しかったです。

あひるだんご

フィアンティーヌシヨコラシルブプレ

(お題提供… 嶋田さくらこ)

シャンゼリゼ通り行けばみんなある恋も希望もきつとあなたも
熱々のシヨコラを口に運びつつマダガスカルの話をしたね
目を開ける1、2、3で果てしなくパリの光の海が広がる
ぼくはまだフランス人じゃないけれどなぜかなつかしマロニエ並木
川沿いのシャトー過ぎれば微かなる歴史の匂い僕を過ぎゆく
さようなら僕の愛しい人たちよシャルル・ド・ゴール空港の夜

ひとこと 楽しかったです！フランス最高！

甘酢

私たち、日野聡大好き歌人です。

(お題提供… 天野うずめ)

イヤホンでその声を聴く溶けそうな鼓膜骨を抜かれる通勤
声優の澄みきる声を凍らせてジンジャーエールに入れられたなら
道端のホットドッグ屋の兄さんの声ですべてが上書きされる
青色の神威の瞳に吸い込まれ夢でささやく彼と寝落ちする
ペダル漕ぐ息切れの声に汗が垂れ濡れてつやめく隼人の首すじ
新宿の駅で思わず振り返るこの声もしや日野聡では！？

ひとこと 難しくも新鮮でした！これでいいのだろうか…と悩みました。

天野うずめ

ユメナマコはゆずらない

(お題提供… 秋山生糸)

深海に届かぬ雨を吸い込んで生温かい園内マツプ
ユメナマコはゆずらないとか言ったってまったくもって笑っていたい
ラテン語の響きに唇震わせて学名で呼ぶユメナマコのこと
ユメナマコ漂っている水槽の目には見えない温度の移ろい
進化とは答えの出ない問いであるユメナマコへと光は透けて
弔いのために海へと散る日にもこの日曜日を思い出せたら

ひとこと 深海の世界は宇宙より未知だと実感しました。

雨虎俊寛

なぞなぞです

(お題提供… 麻数)

なぞなぞです四つ葉とわたし両方の中にあるものそれはなーんだ
なぞなぞです行くな戻れとあなたから言われて気づくそれはなーんだ
なぞなぞです接着剤じゃくつかずポンドじゃくつくそれはなーんだ
なぞなぞです大きな女の子が成る木のプレゼントそれはなーんだ
ねえちよつと！答えがわからなくってもわたしの口から言わせないでね
おずおずとさくら貝した指先を迎えにいけば腕がからんだ

ひとこと あなたに「06、あなたへの恋、あなたの唇、あなたが大好き。

有村一花

映画泥棒に盗まれた！

(お題提供… 福山桃歌)

いつも道迷ってしまう癖があり見知らぬシネマでチケットを買う
後輩の作る映画を見ていれば次第に強く跳ねる心臓
あの時のあれか酔ってはボツにした脚本全部話してた俺
才能がないと見切った俺の本俺のセリフで笑う観客
今のこの気持ち震える手のひらも全部映画の養分にする
くたびれて落ちた眠りの中でまだ映画の続きを考えている

ひとこと 初めての連作でした。短歌をもっと勉強して再挑戦したいです。

有村桔梗

ゴリラ、ゲリラ、フリル。

(お題提供… 7235)

ゴリラ、ラッパ、パン！としりとり終はらせてあなたは街を出てゆくつもり
一ミリも動けずにある。それはもうゲリラ豪雨のやうな恋です。
わたくしの輪郭なぞつてゆくやうに夜降る雨を聞いてゐた夏
誰もぬない駅のホームで待つてゐた あをいフリルのブラウスを着て
うねうねとつづく山みち さみしさの手前で降りるぎんいろのバス
るるると唄つてやればばてのひらにすくつた海がすこし震へる

ひとこと 難しいお題でしたが楽しかったです。ありがとうございました。

生田亜々子

いつびき残らず逃げてしまった

(お題提供… 佳丘一穂)

夕暮れのひかりの多すぎる読点 ああもうどこかに行ってしまった
つじつまの合わない風が吹いてきて ねえ今ここで脱いでいいかな
生まれては生まれて生まれては生まれていつびき残らず逃げてしま
スカートを風になぶらせバスに乗る夜の車道にわたしを捨てて
ミスリードで生まれ変わっていくことの下から咲いてゆく立葵
はなすとき言葉であると感じげずに放せば無数のわたしが、風に

ひとこと 詩情あふれるタイトルにインスピレーションを刺激されました。



石勇齋朱吉

プリーズ・ミスター・ホストくん

(お題提供…たえなかず)

手のひらに収まらない愛 メールすらくれない人を待っている
指先が離れることが惜しかった夏は消えても残る約束
やわらかな芽を摘むように今日もまた知らない花が撫でられている
「二目惚れした町で生きてる、待っていて」ホストクラブの写真一枚
便箋に君の名前を書くときに溢れたものも同封します
待ってても待たれていても進まない時間を動かすための、投函

ホストくんに悩ませました！楽しかったです。

井筒ふみ

(お題提供…大橋春人)

あくまでも鏡文字だと言いはって666となえつづける
あくまでも左耳だと言いはって動かす稽古まいにちしてる
あくまでも蝸牛だと言いはってちよいと小首を傾げてみせる
あくまでも揺れるピアスと言いはって今は海底風がふかない
あくまでも旅の途中と言いはってじりじり辿る青い稜線
ぼくは^{デン}境界の民 いつかどこかで逢えるといいね

おっていつたいなんなん？

乾まさき

毒蜘蛛とポッキーゲーム

(お題提供…はね)

唇に当てた人差し指に恋 物憂げな目に絡め取られて
繁華街ネオンの糸が紡いだ巣 愛で破壊し連れ出したげる
何回も肌や唇重ねても きみの毒素は吸い尽くせない
同じ釜の飯を食うより強い誓い きみは選んだポッキーゲーム
にじり寄る眼と眼と唇 指を絡ませ噛み締める幸
辿り着く互いの唇から愛を吸い合い堕ちて戻らぬ二人

短歌はスプの素人ですが、楽しんで頂けますと幸いです。

犬飼あき

アノマロ借住まい

(お題提供…のにし)

なまぬるい風がカーテンをゆらして静かな午後はなぜかくるしい
すこしだけ泣きたいときは色あせた表紙の化石図鑑をめくる
ぼつぼつと降り出した雨満ちてゆき深海になるアパートの部屋
ぶか。ぶかり。泡が。たましいみたいだな。えらで呼吸ができないぼくの
水底を漂いながら戻れないカンブリア紀の夢を見ている
食うものと食われるものがいてぼくはどっちだろうね、アノマロカリス

二年ぶりに参加できて楽しかったです。日本の夏、ふんどしの夏！

今村亜衣莉

移動遊園地

(お題提供…シヨージサキ)

真昼間も真夜中だって待っている入場パスはぼくらの孤独だ
金色の帽子が屋根にかかかって、忘れ物じゃなければいいな
思い出とみらいを廻る観覧車この一部屋にかなしさはない
雨雲をまっしろにして食べているわたあめってこんなだったね
ピエロしかいないらしくてパレードは必ず星の虹はかかった
その国のしやしらしやら星の浮く夜の蝸牛のような歩み

ふんどしが面白くて、楽しかったです。

牛隆佑

それ何太郎の結末だっけ

(お題提供…西村湯呑)

闇に雨、ほとんど海の底だなあ 陸に帰りし太郎はおもう
童宮の灯にはあらねど対岸に雨の蔽った梅田のひかり
ローソンにカップヌードルを買いにゆく謎の肉とは人魚ではなく
はなぐもり次郎の物語ありて兄の代わりに母を看取りて
はらはらと太郎の屋根に雨の降るあらゆる太郎を眠らせながら
ひらひらと次郎の塚に風の吹く いつかの次郎を眠らせたまま

最初は麻生太郎の連作を作ろうと思って途中で止めました。

泳二

飛鳥川、あす香川

(お題提供…たた(三浦忠典))

大和路を縫って流れる大和川あしたあなたに逢いにいきます
ひらがなでしゃんしゃんと降る蝉しぐれ^{おおにますみしりつひこじんじや}多坐弥志理都比古神社
うつくしく錆びた鳥居に似た高架まほろば線をくぐる夏風
いらないと流せばいいの飛鳥川昨日の夢は今日は見えない
靴ひもを結び直せば落ちる汗思い出すとは遡ること
明日香川あすは渡ろう石橋の向こうにゆれる木があなたなら

どうやって裏切るうかと考えた結果一周回ってこうなりましたた

大橋春人

ひとかたまりもらう

(お題提供…谷じゃこ)

鳴いていてもふもふしてあたたかい手のひらにひとかたまりもらう
きゆうきゆうと鳴いてるその腹を撫でおしっこが出るあたたかいねえ
浴槽で遊んだからねかたまりを今治タオルで拭う真夜中
一秒が一日が宝物になるスマホを襲うこのかたまりは
かたまりの背を触れるときこの街は静かにねじをゆるみはじめる
わたあめをなめる夜市のよろこびをアルファベットの降る夕まぐれ

私の「ひとかたまり」はこれしかないなあ。

大葉れい

身から出た鯖

(お題提供…松城ゆき)

大人って名乗るのをもうやめたいよ夜更けの沖をゆく鯖の群
切れぎれに救難信号窓際で溺れるサボテンから砂漠へと
空想の砂丘のきしみさびざんと声に出さずに呟くときの
責任が手に余るので捌かれた生き物ばかり買っては食べる
鯖の身を崩す デスクに戻らない限り未完結の電話メモ
この身からはらはらと降る寂しさを夜の漁港に撒く 手伝って

味噌煮もいですが、水煮缶が好きです。

岡田奈紀佐

先生と九九と一級航海士

(お題提供…かつらいつ)

先生に8×2＝16歳のとき教えてもらった職業に就く
海原にきらめく光を裂くように2×4＝8時の方角を目指す
年賀状は5×2＝10枚を越えていき小さくなった先生の文字
1×1＝1の孤独を当直の暗さに思い吐息を溶かす
先生の時間が9×6＝54で止まったあとも続く生活
数式をさらう波間にひとひらの真つ白な羽根 港は近い

航海士という職業をほんの少し知ることができました。

小川けいと

盗まれたキウイについて私知っています

(お題提供…雀来豆)

あの肉が確かにここで揚げたけどどっかの地鶏とちゃうかったんか
あの肉は常連さんが「肉やで」と持ってきたから串カツにした
あの肉の腿はばさばさしてたけどささみと胸はがおいしかったで
あの肉は今思ったら生姜よりんにく揉んだほうがええかも
あの肉も何の肉でもべろべろのおっさんたちが食たら一緒や
あの肉が？ニュースでしてる盗まれた？もつときちんと食べばよかった

お祭り楽しませていただきました。キウイごめん。

尾崎飛鳥

老人ホームからやり直せ

(お題提供…ササキアンヨ)

職員も施設も良かったただひとつ桜がなかったことを除けば
「納豆をもつと食べればよかった」とそれだけずっと言っている人
神様にはなれないのだから花の名をちゃんと覚えておけばよかった
免許返納しないまま死んだってなんの勲章にもならないよ
「若い時に出会っていたら」そんなこと言わずに握り返していたら
音のない世界では皆平等であなたの声も思い出せない

ピンチヒッターで急遽参加させていただきました！楽しかったです！

落合きり

ポイの反対はイポ

(お題提供…生田亜々子)

一説によれば金魚は金色で、つまりは名付け親になってよ。ビニールの袋をひとつずつ持って「イポだね」「なんで」「かわいいからね」「そんなもの」持って帰って帰ってどうするの」聞かなかつたし聞かれなかつたしスパーボールをすくっていたきみと金魚をすくっていた僕 歩く
「特別に」色とりどりだ「一個だけあげる。帰りに捨てちゃだめだよ」
今晚は手鍋の中で泳ぐイポ 試しに跳ねてみてほしいんだ

ひとこと この夏は何かをすくうためにお祭りに行きたいです。

貝澤駿一

バッグ・クロージャーの憂鬱

(お題提供…からすまあ)

海鳴りの公園に来て古代魚の化石のふりをしているふくろ
イクチオサウルス図鑑に見れば(※配色は想像です)という注のあり
デボン紀のバッグ・クロージャーの憂鬱の砂浜にその欠片とどめる
古代魚となりしナポレオンフィッシュからランチパックのごみ現れる
あれという名前をみなに与えられバッグ・クロージャー海を流れる
アイオワ州の娘がパンにピーナッツ・バターを塗って恐竜ほろぶ

ひとこと こみ問題は深刻です。

柏原十

短歌トランスヒューマニズム

(お題提供…牛隆佑)

ひとひらのウロコみたいな爪でした端子とこころえ耳に挿しこむ
『メモリーの複製完了』とメッセージ「Hey,ME」と呼ぶ心もとなさ
コピーした思考回路はニンゲンと称せるものか電子のモノか
たくさんのぼくとわたしは放たれて無数の歌を詠みつけます
とつとつと単語をあげて整える(指がなくなっておかしな感じ)
吹き荒れる熱風を浴び君ならばどうだろうと立ち尽くしている

ひとこと タイトルで初めて知った題名でした。さすが歌人のふんどし!

かず

じゃくじゃく

(お題提供…とみえひろこ)

ささやかに回りはじめた洗濯機の水流けして弱くなかった
洗濯機、炊飯器、レンジアームの不協和音のいととき今朝よ
ペランダが(干せども干せども干し足りぬ)南南南南南東にある
干からびたタオル正午の風にそよぎまもなく消化試合の午後だ
筆筒から出した浴衣は母さんのつかう洗濯せっけんの匂い
わたあめの鼻にふれるたび誰だっけ柔軟剤をおもいだしちゃう

ひとこと 思わぬところに着地しました。素敵なお題ありがとうございます!

かつらいつ

お持ち帰りの手引き

(お題提供…沼谷香澄)

おいしい泡は消えるのでしょ夏は夜。恋と好意のあわりを知って
もし君が知りたくなればいつだって教えてあげる優しい世界
帳尻もチュートリアルもここにある。チキンをやめて君の手を引く
(帰るまであとどれくらい?愛ですか?ドライアイスの溶けないエリア)
SOS困ったときは焦らずに手順①からやり直しましょう
理想とは違う現実こそばゆい秘密のように君といること

ひとこと わくわく楽しく相撲をとりたくなるキョトふんどしでした!

からすまあ

いここが河童です

(お題提供…石英絢香)

この夏もいここはばあとやって来てミネラルウォーター僕に掛けたら
「寿司にしよう」いここは勝手に松頼み生温い午後何かを祝う
「皿だって甲羅なんかもこの通り取り外せるのにあたしは河童」
朝六時いここが消えたりビングにミネラルウォーターだけが立ってた
多摩川の河原にとんと皿、甲羅、売り物のように揃えられおり
初めから決めていたのだ人間になれたいここに薔薇を送ろう

ひとこと まさか河童を引くとは。世の中には色々な河童がいる。

河村壽仁

羽の生えはじめた恋人が言いがちなこと6選

(お題提供…深影コトハ)

くしゃくしゃと新聞紙丸めてかぶりつくペリカンカフェのチーズトースト
投票済み証明書見せればもう一人前チーズトーストは紙にくるまれて
ゆっくりと無蓋の船は上ってゆく堤のベンチに昼間の日差し
昨夕からベンチに残るきみの日傘 すいかの水を届けにいこう
花火大会で目を閉じゆっくり倒れたきみ 僕はずつときみの名を呼んだ
「まだまだこの星を離れたくないのだけれど、最近やけに不安で」ときみはよく僕にこぼ
していたね。あとの5選はまたの機会に

ひとこと 今回のお題は実に手強くて難しかったです。有難うございました。

菊華堂

右から順にミュール、サンダル、スニーカー、下駄

(お題提供…深沢紫乃)

右からの風ひたすらに追いかけて気づけば遠くまで来ちゃったね
順に鳴くなまえ知らない鳥たちのさえずりみたい午後のきらめき
ミュール手にはだして駆けるきらきらのきみの姿もみんなまぼろし
サンダルのたくさんならば店先に居座る猫はきつとメスだよ
スニーカーもうびしょぬれで乾かないつぎに会えるのいつだったっけ
下駄箱にずっと忘れたままで咲くかいがら色のなにかの花

ひとこと 今回たぶん最長のお題で折り句に挑戦してみました。楽しかった!

きつね

ヒドネルム・ベッキーには血も涙もない

(お題提供…檜原もか)

躊躇わず引き金を引くヒドネルム・ベッキーには血も涙もない
音楽のように流れる潮風に吹かれてボルサリーノが踊る
酒場にはモカと名付けた猫がいてウイスキーの香りを嗅ぎに来る
ヘッドライトが俺を照らせば雨の中駆け出す俺の無様な影だ
銃弾を体に浴びていつしかの港に吹いた夜風を思う
ろくでもない物語だぜ暗闇でピリオドとして撃った一発

ひとこと ヘアヘア連想ゲームがしたいです!!

霧島絢

エロくない方の加藤

(お題提供…ともえ夕夏)

加藤って呼ばない人が欲しいなど思い開いたマッチングアプリ
俺の名は、って呟いてちょっと前流行った映画を借りにTSUTAYAへ
公園で巨乳の人にライターを貸してもやってこないロマンス
恋をしたのはいつだろうなあ鳩よ伝書箱にはなにか入れたか
晴天の霹靂とは道で拾ったエロ本に元カノがいること
エロくない方の加藤は俺だけどマカが効くかを試してみたい

ひとこと どんな加藤だろうと思いつながら勝手に人物像をつくりました。

草薙

ともだちを撃つ

(お題提供…小川けいと)

想像の血を流すからまっしろな二本の指をそらして撃って
教室のすみずみにまで夏の風 善き羊から染にしましょう
慕われるあなたとそうではない私おんなじ丈のスカート揺らし
クラスメイトぜんぶにあだ名つけ終えたばかりは薄荷のにおいをさせて
先生が遠くに行ったともだちの話をはじめ 青く夕立
撃つ真似をしたら倒れてくれるから本番の日もわらっちゃいそう

ひとこと 中学時代を思い出して詠みました。ふんどしの縁、おてきです。

久保工務店

遺影 Yeah Yeah

(お題提供…まるち)

言いわけは「写真嫌いの人だからこんなふざけたものしかなくて」
いいのかなこんな写真でいいのかなやけに広めのピースの角度
あなただけ変わらないうる白黒に切り取られているあの日のままで
そういえば空気を読まず場違いなこと繰り返す人でしたよ
いい笑顔だからやっぱり神さまも連れていくよねお気に入りだね
葬送の曲はまさかのビートルズ シー・ラブズ・ユー・イエー ドゥ・ユー・ラブ・ミー?

ひとこと 正直参加したことを後悔しました。でもがんばって詠みました



黒井真砂

空を舞う十二イマーム

(お題提供…鈴木智子)

持ち主と蔵書は似るか繰るたびに立昇りくる煙草の香り
視覚野に活字ひかひかとつづくの宗教指導者らが空に舞う
ふいに目の間を揉んで離れゆく 舐めれば古い指なのだろう
藍の色刷かれゆく空 先触れのような花火が心臓にくる
閃りも音もちぐはぐな窓の此方側アルミのようなあかるさだった
天網に閃光の花 かき消えた蛍光灯の聲を尚、殺す

ひとこと ふんどし史上最強に難しいタイトルでした。冷や汗。

黒川鮪

はつなつシンドローム

(お題提供…街田青々)

新大阪駅正面口にひさかたのきみのクルマを光らす日差し
はつなつのそれにしたって暑い日のどこにいたって息苦しいね
はたはたとグラスは汗をかきながらうすまってゆくアイスコーヒー
純喫茶が好きだと言えば恋人が店の名前をつぎつぎ挙げる
渋滞をうれしく思う 陸橋にきみの会社のビルを見つけて
出たときはまだ明るかった大阪のいまは広島 すごく暗いよ

ひとこと 今年で2回目のふんどしです。はつなつ。まがしかったです。

郡司和斗

虹の命名権

(お題提供…大葉れい)

暮らしたらきつと楽しい雨季がある窓がたくさんついている家
十八歳 新規の人はいまだけは無料で十回投票できる
もしかしてどこかでお会いしましたか小さな傘の匂いがします
虹を見る人たちをみる 何曲か聴いたら都庁を降りようか
昨日は無事に火花が行われ、ところどころの色とりどりの
しらすかと思ったらちりめんじゃこだ、みたいな夏休みのおはよう

ひとこと とてもよいタイトルをいただきました。受賞後第一作です。

香村かな

2525年に発見された人体の新臓器

(お題提供…中田らんつ)

「幸臓が届きました」と声高にナースが告げる六月の午後
百人のうち四、五人がもつという『幸臓』夢を生成する臓器
2525年、夢も希望も失った人々がただ移植を願う
進化する医療現場の片隅に捨てられていく既成概念
生命がひとつ消えゆく夏の朝ついにドナーは見つからぬまま
幸せのかたちは変わり関係は希薄であるがゆえに愛しい

ひとこと 難しかったです。500年先の未来って想像がつかないですね。

小泉夜雨

爆炎のカンヴァス

(お題提供…若枝あらう)

明日を知るための両目を綴ぢ込めば向日葵はただ死んでゆく群れ
代償として植ゑられた残光でなんども朝を燃やしてしまふ
神様に用意されてゐる絵の具をこのままきみは使ひきれない
永遠を缺のやうに切り取つてしづかな息の灯るカンヴァス
爆炎に巻かれるきみの黒髪螺旋 指切りしてゐたのにな
黄昏が寄せてはかへすばくはまだ焦がれるほどに夏の終りはを

ひとこと 小さめの爆炎ですありがとうございました

御殿山みなみ

スリーレター・スリーピング

(お題提供…岡田奈紀佐)

「当たり前前に難しいよね。でもそれが司法試験と割り切るしかない」
返信にはらうところを推しはかり一通目の手紙のひかえたり
「息抜きに飲みに行くなら声かけて、出世払いにしといてあげる(笑)」
本年はあきらめているかもしれず二通目の手紙をどどめたり
「ひさしぶり。元気にしてる？ 僕はまあ、相変わらず怒られてばかりで」
ひさしぶりに先はあるだろうまなうらに三通目の手紙はねむりおり

ひとこと 3度目の参加に3なかんじのタイトル、うれしい！

小林礼歩

羊毛フェルト製ピエタ像

(お題提供…黒井真砂)

ふわふわの綿へ無心に針を刺す 六百回でフェルトに変わる
泳ぎだすこともできずに静止した私の中の小さな魚
夏祭り(失くシタモノハ何デスカ) すくえるならばすくいたかった
目が合った小さき者を連れ帰る 真っ赤な金魚名前はピエタ
ねえピエタ あなたは水の中にいて世界を水のプリズムで見る
ふわふわの悲しみ刺せば現れる心の中にあるピエタ像

ひとこと 羊毛フェルトをウグつたらゴザワヤの広告が出るようになりました

西藤智

前世は魔法少女でした

(お題提供…石勇斎朱吉)

白髪抜く チェンジ！の声で髪型を大いに盛れた日を思い出す
「#KuToo 魔法少女」でググる生まれつき外反母趾ってあの靴のせい
ほんどうの私を誰が知るだろう衣装ケースにフリルつぶれて
赤紫蘇を煮出した汁に酔を回しアントシアニンの魔法ひろがる
小刻みに震える友が世を呪う(私が世界を救ったからだ)
幕張新都心でひとり壁を蹴り そうね、来世はライダーがいい

ひとこと 難しかったです！自分では思いつかない題材なので最後まで悩みました

ササキアノ

眠れぬ夜にはこんな歌を

(お題提供…若紫音佳)

コーヒーを飲み過ぎた日は眠れない柔らかに去るきみの残り香
戻らぬと知った感触 このように夜は寂しくクジラが鳴いて
朝日には遠い子午線儚くて違う彼方に甘えなくなる
流木を集めて中にある骨を撫でては知っていたのちの硬さ
不知火が出づる海より帰るもの 熱い珈琲淹れて待とうか
眠れない夜はこうしているとほら ひとりじゃなくて哀しくなるね

ひとこと 日本で一番ロマンのある場所「富山湾」をイメージしています。

サラダビートル

焼いたら旨そう

(お題提供…井筒ふみ)

知らん武将で知られる県の特産の肉持て来たるくだんねー友だち
付属レシピの惜しがる顔と塩だけを味付けにする白焼きの肉
九字を切り両手を合わせて「いただきます」肉と「それ何？」を囁んで飲み込む
「俺はお前でいいけどお前は俺だけじゃいやだろ」返事はせずに茶を注ぐ
毒性か寄生虫でもありそうだ『食えない奴』の嫌な言い方
「また今度(集まろうか)」を遮られ「ところでサア」と壺を出される

ひとこと 焼いたら旨そうは食えない奴の言い換えですね こんな友達ほしい

柴田瞳

怪盗扁平足

(お題提供…深水きいろ)

先輩の私物をひとつ盗みだす雇用契約終了前夜
シャーペンの芯は2Bを使ってるその筆圧の弱さを想う
先輩の机に鎮座する猫のヒゲを折り取る これでチャラだね
4回もプスって言われたこと含め忘れられないでしょうあなたを
明日の朝扁平足の靴跡に気づいてほしい眉をひそめて
疎まれたことを美化するのは弱さ月光に頬照らされながら

ひとこと 第1回以来の参戦です。とりあえず意味のわかるお題でよかったです

嶋田さくら

自転車置き場のサドルの恋

(お題提供…今村亜衣莉)

無人駅の自転車置き場に外灯はなくてあなたを見る月明かり
半袖のシャツから伸びた日焼けした腕がわたしに触れそうだった
愛しさの受容体として自転車のサドルは少しいびつなカタチ
錆ついても大丈夫なのに予告なく撤去されれば終わる命だ
海治いの長い下り坂夏休みのあなたを乗せて走る夢をみる
もう声が遠いよ紅くさるすべり咲いて散るまでここにいたいよ

ひとこと サドルの気持ちを考え始めたから自転車で乗りにくくなりました

西鎮

パステルカラーのエゴイズム

(お題提供…乾まさき)

朝まだきリビングにおいかけきて泣きだすきみに寝てくれと詫び
駆けだせば呼びとめる声すどおりに淡いひかりのなかにはにかむ
お気に入りのワンピースまた洗わずに今日も着るって言いはるピンク
どうしても食べないきみはなぜここにシリアル山の山作りたもうか
2015年の生まれ まだきみのイヤイヤ期には終わりは見えぬ
こんなにも愛しいのかよあ俺の還暦にまだ二十歳のきみよ

ひとこと 襷に絡まりながら抱かれをりわたしは裸の境も識らぬ

雀來豆

ご機嫌いかが、愛しの箒星

(お題提供…文車雨)

父さんは夏、母さんは羊歯、わたしは星で(ひとりつきりで)空へと帰る
ひんやりと触るる左の耳朶に二つの星を引っかけてある
墜つ、黒い拳銃と血のやうに赤い薔薇が表紙に描かれた本の上に
猛スピードで星はぼくらの上を越え夏の野原を焦がして消える
船長は失望する西風とコックのせいで星を逃せり
宇宙では雨は降らないさう云つてきみは帰れり靴ひとつで

ひとこと いいお題をもつて足穂が賢治になった気分でした。

昭架

レウキッポスの娘たちへ

(お題提供…龍翔)

自惚れの僕らが見るは娘らの膝上になる熟した果実
沢山の傷だけ治して下されば道に並んで踊りますのに
あの方はいつにも増してご乱心、蹄が滑り蒼穹を見た
鮮明な夢にだけは見えないよう自己防衛に委ねるこの身
撃つことが何になるのか手を抜いて帰路で見つけた塩水の跡
羽ごとき人間ごとき生活の端を得るため動かした筆

ひとこと このぎゅうぎゅう話の絵がどこか自身の作品と似ている気がします

シヨージサキ

健全な生活

(お題提供…満島せしん)

スパーでおつとめ品を買う夜の月はぼやけてほしい丸だ
無理してるあなたらしいね 剥けているネイルに違う色を重ねて
会う前の話がしたい 右腕が折れたときってどんな音した?
傘を差す 行方不明の猫たちを探す貼り紙濡れないように
〇〇と煙は高いところが好き、らしいしつられてのぼる屋上
写真にはわざわざ残さない日々でいつかは忘れてしまってもいい

ひとこと 久々にドキドキしました!笑 間に合ってたよ!

白川ユウコ

雨天決行

(お題提供…長月優)

RAINBOW 2000 (97年度) 日本ランド HOW ゆうえんち
一晩を踊り明かすにチケットを買ってしまえばあとにはひけぬ
荒天の富士に装備はこれだけだ3000円のビニールポンチョ
レストランは避難所と化し無農薬カレーを食べてみじかき眠り
真夜中に輝くメリーゴーランド夢よりあやな音がはじまる
朝に雨あがりてきみにまた会えて愛の力を信じてしまおう

ひとこと 長月さんのお題はとんでもない無茶振りではなくて助かりました!

しんくわ

アイスだったはずだ

(お題提供…月本ゆみ)

かなり昔の夜の静かな街のなかに時計をなくしてしまったようだ
釣具店の看板が音をたてている震える夜空は君の口腔
MSX2+触る真夜中万葉はたれぞマシン語の使える者はおらぬか
ダイヤモンド愉快痛快怪物として、コンパイル所属のゲーマーとして夢の中に居る
閉じる瞳開く耳たぶ完璧な猫を従え神社で読書
確か二巻で死んでしまったイケメンはキルヒ・アイスだったはずだ

ひとこと ひっそり短歌作りました。月本さんありがと。楽しか

水槽

いつも通り商店街

(お題提供…苗地静恵)

目覚めたら毒虫浦島未来都市或いは田舎の商店街で
ぜんぶ赤い白石精肉店を出て駆け寄って来る白石穂花
もう死んだ古本屋さんが店先で紫煙を空に落とすバタイユ
缶ジュース暴発ブドウ糖逆流ほほえみはここ、いまここに咲く
風という縁取りのなか花屋には切り花ばかり届くのだろう
さようならミセスコロッケ残照のたれば通り 抜けて青空

ひとこと 新弟子です。最高のふんどしと土俵をありがとうございました。

鈴木智子

(遺伝子組換えでない)

(お題提供…菊華堂)

わたくしは天然モノの大馬鹿モノ、うがい手洗いくらいはします
遺伝的病と言われわたくしは遠くの沼を発つ鳥になる
にんげんも遺伝子組換えできればね なんて怖いこと言うよな
遺伝子を弄られハッピー、スナックに投げ入れられたトウモロコシは
性格は母似で顔は父似だと話すわたしは神の子でなく
この星のらせん階段たちは知るぼくときみどが抱く世界を

ひとこと 油断すると暗くなりそうでした…!

スズキロク

スマホはダメよ!

(お題提供…中村成志)

わからない何もわかってない人が蚊取りマットの電源入れる
駄目よって言うまでもなくそっちにはスマートフォンは持っていけない
深呼吸 の後で自撮り あの子には毛布をいくらでも掛けたげる
欲しくないリストお風呂で唱えてる大丈夫って言われてもねえ
分岐点 どのさよならもガチャだった二度と引けない確率だった
嫌われて好かれて生きる 友達の裏アカウインド読まずに食べた

ひとこと スマートフォンはアンドロイド派です。

須田まどか

ラムネ設計図

(お題提供…みかみ凜)

降り止まぬ雨のせいだな灰色に染まり始めた君を見つける
砂浜に打ち寄せられたシーグラス拾うみたいに言葉を交わす
太陽に溶かし溶かされ何になる妄想だけで膨らむ破片
夏招く伝家の(ラムネ設計図)信じる者に許される恋
胸元の透명한石の境界を外されるまであともう少し
不確かな泡を「甘い」と飲み込んで君が笑えば夏の始まり

ひとこと 長い梅雨でしたね。こんなに太陽が恋しいなんて。

諏訪灯

タピオカ嫌いって言うていい?

(お題提供…東ころこ)

行列を見てひいている私はタピ活参加資格に欠ける
飲まずとも困るわけではないものに並ぶ時間があったなくて
かと言ってコンビニにあるタピオカもちょっと高めで買う気がしない
ぜひ体験したいと思わせるような何かが足りぬイモのつぶつぶ
世の中のブームに乗っていないなくても今日もまったく時間は過ぎる
タピオカのために並んでいる人を見ながら一人コーヒーを買う

ひとこと 三度目の参加です。連作送信の時点でタピオカ未経験です。

せぎ

Lo-Fi Holiday

(お題提供…橙田千尋)

豪勢なランチ煌びやかな笑顔 王子様を待つ人々の卓
幸福な王子の胸に抱かれしツバメ私を癒しておくれ
ポコダのスイッチ入れる、匿名の誰かに縋りつける気がして
寂しさで人は死なない心臓に感情なんて必要ないから
泥のよに眠っていたい明日からの虚構の我をつき通すため
「closed」に看板変える午前9時これがわたしのLo-Fi Holiday

ひとこと 今回、6首連作が難しかったです…!ありがとうございました。

石英絢香

響の周波数

（お題提供…小林礼歩）

「お隣の部屋のテレビがついてんな。なんか知らんが、俺、分かるねん」
「なしてだべ、あたしはさっばど分からんな。鈍いんだべな、人間やめる」
「死んだあとあたしの魂捕まえて」虫取りアミを渡された春
椅子の下うずくまってる鬼の爪、あの子のお気に入りマニキュア色
テレビならついているのが分かるけど、鬼の居場所は分からない冬
ガラケーのながーいながーいアンテナも捕まえられない響の周波数

冒頭二首は実際の会話です。ありがとうございます。

千仗千紘

えりん毛

（お題提供…水槽）

見慣れないキノコがあつてレシートに印字もされて何だ「えりん毛」
めっちゃ水を弾く毛のせい！めっちゃ水がキツチンの床！床に！床！！床!!!
炒めたら案外イケる！食感もそそながら味は椎茸
華麗にも強制終了「えりん毛」を「witter」はなぜか拒んだ
在庫にはないとの返事 もう一度食べたく聞いた同じスパー
レシートの印字も写真も消えていて記憶にだけは残る「えりん毛」

菌類に毛が生まれました。美味でした。ありがとうございます。

ソウシ

のこった、のこった

（お題提供…赤片亜美）

これはもう土俵の上ってことだろう十三度目のかち合う視線
塩を撒くように牽制撒いている痛い思いはしたくないから
お互いに寸鉄だらけだろうから手水切らずに始めましょうか
真正面からにっこりと笑われて張り手食らったみたい、よろめく
押されたら押せの教えを思い出すその手をぐっと引き寄せてみる
落ちる、いや、投げられる、いや寄り切つて、勝敗はまだ、のこった、のこった

ふんどし、初参加です。相撲について調べまくりました。

たえなかず

ドーナツに深入り

（お題提供…霧島絢）

これ以上深入りしないで真ん中の空虚を埋める気もないくせに
分け合えば少し足りないあの夏のダンキンドーナツ 振り返ってもいい
円周と直径（計算も恋のうち）きみへオールドアツェーション・シュート
ドーナツを二人称にする 友情は恋に含むか教えてドーナツ
はなむけつて言うんだろうなドーナツの空洞、KUWATA BAND流れる
MILD SEVENとクルーラーの日々たまに雨ふたりが閉じた真夏の栞

ミスドジャなくてダンキンドーナツで青春の歌が詠めました。

高木一由

全て私の一存です

（お題提供…昭架）

卓上に一晩寝かせた見積書（昨日の俺は何をしていた）
未読未読未読メールを開けている（既読にならぬLINEを思う）
口上は「いつもお世話になってます」（世話してるのは俺じゃないかな）
「バジェットがシュリンクされて社長マター」（美味しいパンとエビの話かな）
ままならぬことを積み上げてゆくと客も彼女もお昼休みも
これだけは全て私の一存で（ピークを過ぎて掻き込むランチ）

頂いたふんどしはシンプルだったのに、意外と難産でした。

たた（三瀧忠典）

首狩り族VS耳削ぎ地蔵／黄金の爪を探せ

（お題提供…二三川練）

イルカの肉は春玉葱と煮込んだら美味しいという首狩り族は
ポピュリズムの助言を受けて耳削ぎをどうに終えたという馬頭琴
北洋にクジラの地蔵尊があり高僧がときどき訪れる
致死的な手法でナガスクジラからは黄金の爪確認できず
「IWCからクジラを守る党」結党ならず ぶっこわれてる
蚊の音が聞こえなくなる暑い夏調査捕鯨の船を見送る

タイトルが長いぞ！ほげくつと読みました

田中ましろ

黒服の流し目

（お題提供…須田まどか）

黒を纏うときの背筋で否定する有象無象という生き方よ
ハロー夢の世界に生きる人たちのために僕らは少年のままに
人間も羽化をするから源氏名はやわからくやわからく発音す
アツシポにツメシポにカワシポむなよお茶を引く日もあつて人生
周辺視野で観察すれば果てしなく自然な笑みは量産されて
僕はこの国の何を知っているんだろう 朝焼けに走るゴミ収集車とか

これを詠むためにキャラクラに通つて、ません！想像力！

谷口泰星

以後の紅茶

（お題提供…壬生キヨム）

それ以後と以前に世界は分けられてほくだけがまだ息をしている
どうせなら一緒に連れていって欲しかった 机に並ぶ無数のフィギュア
もう触れることのできない思い出が浴槽の底きらめいている
この部屋で確かなものは両耳が捉えるドライヤーの音だけ
できるだけあなたの所作に近づけて紅茶に注ぐミルクの波紋
こんなにも甘いのがすぎだったことはじめて知った涙の果てに

お題からイメージを膨らませて形にしていくなが楽しかったです。

谷じやこ

太陽もつたいたいよう

（お題提供…ひろうたあいこ）

北風も吹きたかったが太陽がせつかく海を光らせるのに
太陽もつたいたいよう海面に跳ねる光がまさかボラとは
煮え切らん返事をすれば煮えるまで最高気温どんどん更新
太陽は直接見るな太巻きのきゅうりを抜いた穴越しに見よ
アイスキャンデーアイスキャンデー 冷凍庫開けて涼んでアイスキャンデー
光合成ちゃんどやるのであした朝起きたら草になってますように

野球のない月曜が晴れると、太陽もつたいな！って思うな！

千草融

ヤング・コーン・ヤング

（お題提供…辻聡之）

弁当のヤングコーンを齧ってるきみに伝えた「好き」の一言
梅雨空に指で描いて誤魔化したlike かlove か分からないまま
急かすようにノート破ってキスをした初夏の匂いに混じる白雪
食べ頃を待たずにどうか摘み取って齡重ねず今を愛して
スカーフで痕を隠して笑い合う大人になつてなれなかったね
ひと夏の利那を満たした僕達はコーンになれず背を向け歩く

他の方のタイトルで連作するのは難しかったですが楽しかったです

知己 凛

目が覚めると小学生になっていた

（お題提供…やーるー）

二番目を指して飛んだあの夜からたどり着けないネバーランドへ
あの曲が流れてきたらぼくたちはいつも勇者になれる気がして
目覚めたら急に世界が大きくて空が一段高くなつた
一日の流れる時間の速さにはどうやら体にリンクしてない
母さんに起きて寝るまで会えなくておなか痛いと大袈裟に言う
明け方に目覚めてすぐに頬つねるやっぱりぼくは勇者じゃなかった

小学生だったのはいつだろう。思い出しながらしました！

千原こはぎ

画鋲をうっかり、ね

（お題提供…草薙）

金色の画鋲をうっかり寝過ごした朝のわたしに刺しにいきたい
すれ違ふとき軽やかな切っ先で傷を残してゆく人だった
心臓がちくちく痛む 横顔や指の形を浮かべるたびに
うっかりと画鋲を踏んだ疼きにも似ていて認めるしかなさそうだ
あの朝に寝過ぎたせいでうっかりと画鋲のようなあなたを知った
全身を刺し留められて動けずに遠いあなたがくれる一瞥

うっかりと画鋲を恋の歌にしてみました。楽しかったです！

千幸

ウロコフネタマガイの足音

(お題提供…堂那灼風)

6センチヒールも海では強がりの音を鳴らせず武器にはならず
もうずつとところはやわいまま 口を開かなかったアサリを捨てる
武装して生きる角度のアイライン ブラックレッドのルージュは苦い
ごめんなさい貴方の好きな娘になれないそしたら泣いてしまう気がして
「助けて」の声にならない水泡を集めてつくる鈍色の鱗
よわいので壊れぬ殻をまどつてる聞こえぬはずの音を聞いている

ひとこと 初参加でした。考えている間とても楽しかったです！

月丘ナイル

外堀を固めた上で

(お題提供…なるなる)

逆らってもしようがないことばかりだしバームクーヘンは剥がして食べる
もしきみが振り返ったら手を振ろう あげかけていた右手を下ろす
小説を読み進めれば左手にかかる重さの減ってしまえり
雨あがり水の増えたる側溝を流れてゆくは金魚ひとひら
夏空の見晴らしのよく天国へつながる道がよく見えるよね
外堀を固めてつくるダンスフロア踊り続けるわたしのための

ひとこと わたしなりの「外堀」があなたの心に届きますように。

日本ゆみ

惑星カタログ

(お題提供…雅仔)

カタログを指さしそっと目くばせた恋人たちの手首しろくて
「この星は先日消滅しましてね」コンシエルジュそっとページを閉じて
夜が明けることはない星 駆け落ちとおみうけしましたどうぞこちらへ
どの星にいつてもそこで生きていくだけだよとぎゅうと腕をつかんで
まだ知らぬ重力のなかしんと星のはやさで駆けだすつがい
カロンカロンつぶやけばほらゆつくりと仲間はずれの惑星まわる

ひとこと 語源が「惑う星」と知り愛しくなりました。惑星。

辻聡之

眠れる獅子の横に寝

(お題提供…柏原十)

飲み会の三次会には行かずして夜の隙間をしとしと帰る
寝室に獅子ねておればシャツに残るシユラスコの匂い嗅がせてみたり
ああ、たぶん狩りに失敗した夢だ。短く唸りながら寝返り
まどろみに波打つたてがみに櫛を 梳くほど琥珀色にあかるむ
(白Tに黒のハーパン) マレーバクみたいになって隣に眠る
折り紙の金魚を散歩させているあなたが笑った夢はわたしの

ひとこと タイトルから作ることが少ないので脳みそフル回転！

天国ななお

無責任ココア

(お題提供…御糸さち)

初めてのカフェでココアを頼むのは大人のデートと思っけないね
お子ちゃまな飲み物だって決めつけも砂糖を抜けば女性の苦さ
大きなマグカップなら嘘つきの瞳を隠す役目もはたす
キスをしたくちにココアの感触が残った気のせいじゃないなら
紅茶好きだった僕とは一回でわかったはずの不一致なのに
混ぜきれず最後に残る濃みまで飲みきっちゃえばきれいさっぱり

ひとこと ココア好きです、ココア好きな女性も好きです。

橙田千尋

ペアペア連想ゲームがしたい

(お題提供…きつね)

了解の代わりにねこが歯みがきをしているGIFが送られてくる
遅刻した人が遅れてきた人と遅刻をしている人をいじって
頼りないアームのUFOキャッチャーが行き来するのをながめる時間
あんのやつとクリームのやつと二種類が選べるうえでみんなクリーム
じゃんけんぼん パーを出している人たちはその場で全員負けとなります
最後らへん隣で盛り上がったゲーム、今度はあれからやろう

ひとこと ねこが歯みがきをしているGIF、良いものです。

堂那灼風

歌会ですよ

(お題提供…雨虎俊寛)

やりかけの自己紹介を巻き戻しカップに口をつけながら聴く
名前にはルビを振れない司会者のあえて二度言う雨虎さん
立合いの啖呵にかえて朗々と詠草を読みしずかなゴング
「フォロワーに紛れて君を見ているよ、匿名」という私の悪魔」
論点があっちこっちに飛び火して我らは踊る時計は進む
歌うのはちよつと……と言われそれ以来会議で通す貸会議室

ひとこと 二転三転七転八倒でした。なにがこわいってそりゃもちろん……

都季

サポータージュ入門／社会人編

(お題提供…結江里香)

サポリましょう積極的にサポリましょうあなたに足りないものはそれです
淡々と助言をされて目覚めれば知らない駅名 あくびする猫
途中下車しちゃいましょうカレールから少し外れて歩きましようか
社会人ですしきちんと連絡を鼻声混じりでおきましよう
呆気なく取れてしまった有休をサポリ初心者持て余すの巻
まあ撫でていけよとどを鳴らされて押忍、猫先輩失礼します

ひとこと サポータージュしすぎて、あわててふんどし巻き巻きしました

土岐友浩

ぎやふん

(お題提供…田中ましろ)

奏でればいつでも思い出す歌よ 揺れる ふわふわ 思いは いつも
帰宅部その1とその2が真剣に聴いてしまった黄色のドラム
あのラップ、なかったねって言いながら学園祭のあとの川原を
毎日のようにうどんを食べている紫とひとつ作戦を練る
バスケットからやってきた真帆の友達は初登場で「ぎやふん」と言った
帰宅部をなかったことにして冬の音楽室のアンプをつなぐ

ひとこと けいおん！Shuffleに捧げます。ありがとうございます！

とみいえひろこ

冷やし中華、はじめられませんでした

(お題提供…高木一由)

冷やし中華、はじめられませんでした たとえばそれでおしまい何がいけない
銀色の匙の薄きに醤油風々頃は鎖骨に鳥のはばたき
手段には際限がなく目薬のおおかたは透明に溢れて
整体院の男わたしに優しく何も話さず圧されていたり
うらぎりのかなかな鳴くや人くさき部屋を離れてひとを思えり
さみどりのUBER EATSに追い越されからだの芯から冷える夏です

ひとこと 「はじめられませんでした」の「うれ」に胸がきゅつとしました。

ともえ夕夏

八千円事件

(お題提供…西村曜)

ずぶ濡れの樋口と野口が今朝早く意識不明で見つかる事件
事件だと騒ぐな事故で片付ける母は被害者らを救出す
犯人は泳がせておけど目配せて母が無言で行う蘇生
しっかりと息吹き返し靴下と並んでそよぐ樋口と野口
カツ丼を食うかと言われいやこは焼き肉でしようと思働工作
その夜に搜索願が出されたが迷宮入りの八千円事件

ひとこと 完全犯罪は難しいですね。八千円が愛おしくなりました。

中瀬玲

あ、ぶり大根の大根が逃げ出した

(お題提供…やお)

「僕はまだ土にいたいんですよね」そう言いたげな青い部分
晩御飯いつも待てない君は今現実逃避を開始しました。
あ！大変！ぶり大根の大根が隣の皿に逃げていったよ！
証拠品…君が持ちいるその箸が泣いているから故意とみられる。
一口を頑張る君の勇敢な姿が何故かチワワに見えた
ほろほろと崩れゆくのは大根か、はたまた嬉しい私の顔か

ひとこと ぶり大根の神秘に触れる事が出来ました。

中田らんっ

第6次青汁戦争

(お題提供…あひるだんさー)

ああまずいもう一杯とはなんとまあひどい侮辱か汁権侵害
罰ゲームに使われた青汁の飲みさし愛してくれと三万里行く
人生で何回青汁飲みました？二回と言った君に恋する
監視下に置かれたレジスタンス達回し飲みする最後のひとり
ケール隊南へ進軍したりとて絵本作家は走らす絵の具
ルーチンで飲み下す今日もつつがなく青汁戦線異状なしです

青汁を普段飲まないタイプの人生です。また違う人生の方どうも。

長月優

花言葉なんて知らない

(お題提供…千仗千紘)

一輪挿しに芍薬の蕾 感情は夜に濃度を増して
マーガレットの花びら散らす Yes or No or もしも、たとえば、あなたを
向日葵の群れがこちらを見つめていてそのことばかり覚えてる日
名に花を咲かせるひとの妬ましく部屋のサポテンに水を遣る
花束に感情を与えてしまうそれが自分のためだとしても
花言葉なんて知らないひとと行く道にアネモネ 揺れる揺れるよ

今年もふんどし締めました！好きなタイトルの分難しかったです。

中村成志

沼はいっぱい

(お題提供…スズキロク)

すんすんと茄子のキッシュを切り分ける心地のこころが沼の入り口
縦横に裂けたポートが棧橋の代わりに沖を目指して伸びる
骨盤の？ああこの茶色いイガラシは十五年物そりやあ重いさ
水面へと髪が(髪です)浮上して戦く初の射精のごとく
突っついてあぶくを出せばもうじきに沈むさこれが見納めの耳
ようやくと軽くなったよこの面を放ればそれで沼はいっぱい

お題に沿っているようないような。ともあれ、これが精一杯。

7235

プッチンしないほうのプリン

(お題提供…谷口泰星)

感情線西高東低くずれてもスノウドームの雪降り止まず
この街で舞いあがる花夕立も海の一部になれるのかしら
プッチンしないほうのプリンでもてなしたい正しいことはいくらでもある
これからはoutを脱いであいになる白木位牌さかさまにして
つゆしもの秋へかたむく桃味のソーダ 躰がただだきている
世界はずっとあり続けるさシトラスの菌磨き粉振るぎゅうっと絞る

ありがとうございました。プッチンしないほう、よくたべます。

なべとびすい

愛より団子さ

(お題提供…文月菜)

三色のまる連なつて春の風。怒りの角を落としてくれる
無いときも想像だけでご機嫌で愛は無いなら飢えていくのに
陽だまりでみたらし団子手に持ってそれで幸せ、だけで満たされる
逆に聞けど愛なんて複雑なものが団子に勝てると思う？
愛よりも団子がいいよ訳あって分け合ってたって許されるから
幸せが数百円で買えるって世界を信じてみたくなるでしょ

言うまでもなく愛より団子なので、逆に難しかったです。

檜原もか

【急募】カーテンの花柄でブーケを作れる人

(お題提供…花藤もも)

結婚をしてみませんかカーテンで服を作ったマリアのように
花柄のカーテンがいきみのため毎朝ブーケを作ってみせる
植物の名前でドレミの歌を歌うそして暮らしはにぎやかになる
人生を登山に喩える死ぬまでにエーデルワイスと一緒に見よう
本物のブーケをあげる記念日や謝らなくてはいけない日とか
お花畑と揶揄するならばすれはいいまだ暮れぬ間に閉めるカーテン

うちの人はカーテンを開けてくれません。

なるなる

G.Z.D.B.

(お題提供…御殿山みなみ)

G 牛丼に並べ忘れた紅しようが(ごめん) やっぱり二番目(ごめん)
(またひとつ年を取ったな 欠かさずにメールをよこす初恋の人)
Z 絶対はきつとないからワイシャツに柔軟剤をお守りにする
D だーりんはソトでの顔が大切でウチに厳しい たまにいいパパ
(結ばれることがなかったあなたからきつと一生好きと言われる)
B ポイコットたまにはさせて 行くあてはなくてコンビニコーヒーを飲む

タイトル難しかったです！実話？妄想？想像にお任せします笑

西淳子

トリケラトプスの美味しい季節です

(お題提供…中瀬玲)

生産者の笑顔が素敵！インスタじゃなかなか見れないタイプの笑顔！
「ドラマチック私生活」とか聴きながら三年ぶりの自炊をしている
楽曲にこっそり入った幽霊の声に似ている「いただきます」だ
食べ顔は見ないでほしい。だって今、あたしはきつとティラノサウルス
デザートにあなたの角を舐めている ASMR 動画をあげる
歯みがきをして消えないものばかり フリルのついたパジャマがほしい

トリケラトプス、美味しかったです。こちそうさまでした！

西村曜

ベジタリアンになんかなれない

(お題提供…星川都乃)

草食系か肉食系かを決めかねて意図せず断食系のわたくし
絶食系男子の野田は断食系男子のわれに「つらそう」と言う
ほら彼女の鎖骨が見えてこれだから夏は嫌いだいや、うそ、うそです待って
美食家はうさんくさいがかとってベジタリアンになんかなれない
切れば血の吹き出るからだ印刷のちっさいビキニ着たグラドルも
そもそもが食う食われるの関係じゃなくていっしょに食おう、肉とか

今年も苦しみました笑 でも短歌では苦しいことも楽しいですよ

西村湯香

夏雲はお一人様三個まで

(お題提供…西藤智)

「夏雲がお一人様三個までやし」 いっこも分からん君の呼び出し
「※夏雲は和菓子の名前。ポエムやと思わんといて憤死するから」
充実はお一人様にひとつまで 心臓破りの坂を漕ぎゆく
六個とも食べるんちゃうの？にデコピンをしてから君が告げた引っ越し
「夏雲をいっぱい持って会いにきて」ポエムちゃうで、と笑う目の赤
「夏雲を抱えているのが目印です」「顔で分かるわ！」再会のデコピン

イオンの1階で売ってます。(良題ありがとうございました！)

沼尻つた子

人魚の財布を拾ったら

(お題提供…氷吹けい)

びっしりと銀の鱗におおわれた財布は夜の浜に流れ着く
見慣れない高額紙幣の透かしには三又の槍もつ海神
「わたしのです」ふりむけば月の光満ち鱗をそよがせるおっさんが
下半身きらめくおっさんアンデルセン・デイズニー・スタバ全否定して
なまぐさいって陸に出たとき言われたと泣くなよ俺の DEOCO を貸すよ
拾得物の2割の権利を主張した俺の2割に鱗が生える

「リアル有り得ぬアリエル」と詠み込むのはやめておきました。

沼谷香澄

本のない本屋の前で

(お題提供…桃生苑子)

待ち合わす場所をこれから探すのかって思う必要はない別れた
目に見えて粒で黒くて降り積もり吸い付くこともあるものたちよ
そんなもの今考えることなのか？そんなもの？そんなもの？そんなもの
念入りな修辞のひらく空間の差し向けられた結論を死を
ざるそばの単品を買う性格があぶらっぽいと言われましてね
原状は白かったおどろくほどに雨を呼ばない雲が流れる

生活密着型ふんどし、頑張りました。いかがでしょうか。

ネコノカナエ

薔薇の木に薔薇の花

(お題提供…穂崎円)

薔薇の木に薔薇の花だろそのように僕の体に僕の手のひらはなびらでああなたの指にふれたくてふれに行けない行けないから来てマニキュアに似た紅に口づけを薔薇の香りよ君だけが薔薇花は花ゆびじゃないのよこの香り届く場所ならどこまでも二人木漏れ日は揺れる花びら体じゅう君によく似たひかりに濡れて薔薇の木に薔薇の花でしょ木漏れ日じゃなくてわたしにひかり感じて

ひとこと 楽しかったです。薔薇色のふんどし？

ネネネ

ムーミンがこつちを向かない月曜日

(お題提供…みしまふみ)

ムーミンがこつちを向かない月曜日 きみの背骨のくぼみを撫でた火曜日はカエルの声が聞こえない わたしの喉はまだ治らない終わらない仕事まみれの水曜日 駅のホームで飲み干すビール木曜日きれいな月は見えなくて かざした指は白い深爪 会いたいと言えないくせに金曜日 マックシェイクをがんばって吸う土曜日を引きずったまま日曜日 ムーミンいつかわたしを見てね

ひとこと 気づいたらムーミンについて詳しくなっていました。やっぴー！

のにし

ローソン2日禁止のぼくら

(お題提供…サラダビートル)

世界から消えてしまった青と白そんなコンビニ知らないなんてなくなつてやつと大切だと気付くファミリイだって今となってはプレミアムロールケーキの真ん中で愛を叫ぼう真白な愛を朝7時夢から醒めた2日間当たり前がなくなる世界 駅前の西と東に1つずつ実質これは駅もローソン 少しだけ早足になる帰り道からあげクンが1個多い日

ひとこと 難しかったです…けれど、ローソンがさらに好きになりました。

薄荷。

迷子じゃないです冒険です

(お題提供…都季)

オレンジのクレヨンで君がグリグリと描いた地図には目印がない五分ほど前に通った道に出る城下町には罨が多くて 真っ白な一方通行矢印に捕まったまま裏道を行く 多分この街を設計した人はエッシャーみたいに愉快な人だ あ、ねこだ。あ、自転車屋だ。あ、犬だ。知ってる街の知らない横顔 そうこれは迷子じゃなくて君が住む街を知るための冒険なのです

ひとこと 冒険から無事に帰ってきました！

はとサブレ

タピオカミルクティー替え玉無料

(お題提供…月丘ナイル)

「たびおか」がインスタ映えと耳にした何処かの丘かたびつてなんだ タピオカを買ったと後輩買えるのかしかも飲むのか丘じゃないのか 親切な人にネットで替え玉が無料のタピ屋をオススメされた 替え玉が無料のタピ屋はググっても出てこなかったが原宿へ行く どの店も替え玉無料じゃないじゃんか仕方ないので適当に買う 今日からはコンビニにあるタピオカは偽物だよと言え俺だけ

ひとこと 難しかったです…！タピオカを何杯か飲んで臨みました。

花藤もも

形容矛盾作品展

(お題提供…悠)

米農家の娘の朝の食卓はサンドイッチかパンケーキです つめた〜い青のボタンに鎮座するホットココアの温度はさてはて 登り坂漕いで下りは押して行く我が自転車は夏風知らぬ 好きなのにハート付きのメッセージきもいと思う思春期のよう ブランコの振り子のリズムで揺れ動く好きと嫌いを行ったり来たり 体重計乗りながらかじる板チョコの背徳的な甘さに酔ってる

ひとこと ずっと身の回りのある矛盾したものを探してみました。

はね

魔法少女春巻き子の日常

(お題提供…守賀日奈子)

どうしたの元気ないのねそんなときくるつと参上、春巻き子 失恋のくるしさにきく春巻を なみだの数だけ春雨まみれ 嘘、なみだ、今日の後悔、明日の不安、ぜんぶくるんでしまの魔法で 心臓にきゅつとくるまで揚げてゆきましようあの日の夕陽の熱さで 春巻をばり、とかじればくるおいしいほどの思い出 あなたに還れ 春はくるどんな町にも 春巻でたたかう魔法少女がいれば

ひとこと そうだ。春巻はどんな悩みにもきく魔法なのです、くるくる。

東ころろ

火が走る

(お題提供…ソウシ)

一瞬の相手でもいい真夏日の似合うあなたの肌はやさしい くちづけをされた場所から次々と火がついてもうたすけてほしい 冷え切ったころろにも火はつくこと証明になるきみのくちびる 燃えあがる炎が理性を焼き尽くすあなたに強く抱かれるたびに 遠くから花火の上がる音がしてきみとながめる夏の幻想 ながくながくあいてほしいうつくしい線香花火のように抱かれて

ひとこと 気がついたらさすこしだけ大人な恋の歌になっていました

氷吹けい

マックポテト150円

(お題提供…ネネネ)

梅雨明けの風なまぬるく卓上にマックポテトの匂いは涙む クーポンでポテトのLも買ったのね食べきれなくてそういうことね ペしゅんこのチーズバーガー添えられて戻ってこないたましいみたい 分かつてはいたの確かに分かつてはいるの確かに選んでいたの 折り込みのマックのクーポン取り分けて冷蔵庫に貼ったのはわたしだ さようなら150円ぶんの夏 あなたのポテトはさめてしまった

ひとこと 考えていたらお腹がすきました。

ひろうたあいこ

家族中毒、花束の写真

(お題提供…郡司和斗)

母さんの文通相手は父さんで「手書きがいいの」を譲れなかった 気に入りのレターセットの霞草白く無邪気に綻んでいる うしなつたものはひとつもないのにね 今夜の丸い月をなぞった 掃除機はいつ止むだろう母さんの後追いかけて柔な犬ころろ 「ちひろ」って呼ばれたようで振り返る 金魚の濡れた口のぱっくり エンドロールに父さんはやっぱりいなくて僕ら家族の短編映画

ひとこと 頭の中でとんとん妄想が映像化されて楽しかったです。

笛地静恵

きやろらいんちやろんぷろつぷ

(お題提供…柘英児)

キャリアー音&音！愛する人はいまいずこ熱唱するはキャブキャロウェイ様 チャランポランスキーのボルノグラフィアともあれしぼられるのはスキ くれないのカーミラのカーブミラーのファンタジーそそれ・ファンユファニユ クリスピーンクリスピアーノクリスピーサンドの道をころびころがれ 三日月の銀河ヒッチ併句ガイドのみ折り紙付きのつけまつげつけ 金継ぎのギンヌンガガップに萌えねむれねむきんぐぎどらよ

ひとこと きやろくばみくばみくと、プレスつきでなら言える。

深沢紫乃

町田駅

(お題提供…貝澤駿一)

半額のピアスを買って分けあってリボンにつけて 証明したいに お互いの似合うコスメを買ってお互いのいる未来を話して インスタで知ることばかり増えてって用もないのに町田で降りたり 「ジアレイができたんだって」と打ったけど知ってるだろうし 行っただろうし たくさんのこおりで水の味がしたマックのコーラももう飲めないね 制服を脱いだだけだと思っただけだ世界世界の狭間に

ひとこと 私は町田で降りたことがないので、これはすべて妄想です。

福山桃歌

謙虚な昼寝

ミルクティー色の毛布にくるまって目を開けても夢みる真昼
ほんとうは強くないしプラ製のストローみたいに容易く曲がる
現実には甘く包まれ古傷がつくる血だまりひたりと泣いた
誰か手を握っていてよ深爪が痛い指先まなぬまま
水底に沈んだ泥のようにふかくふかく溺れて何も見ぬふり
目覚めたくないのに生きて眠りたくないのに死んであわれなわれは

（お題提供…宮嶋いつく）

ひとこと 年々ふんどしがきつくなっていきますーありがとうございました！

ペルセウス座流星群

出来心で、つい

「ねえ、楓太起きてる？」って眠いけど何故か送ってしまったLINE。
「眠れない」そう言う君が眠るまで何かお話ししてあげようね。
「俺たちはこんな時間にラーメンを食べてる。きつとアダムもそうさ。
盗んでも良いのは女子のハートだけ。男のロマンが教えてくれた。
そういえば、8歳の頃ヘンテコなあだ名で呼んでごめん。あれは、」
スヤスヤと聞こえる。寝たな。あつやべえ。明日の一眼起きられっかな。

（お題提供…モカブレンド）

ひとこと 初参戦でした！アハ体験のようでも楽しかったです！

文車雨

禪橋を渡って

随分と心許ない橋だろう白い布地を引っ張っている
伸ばされたシャツの裾持つ指先に意地が窺って慌ててしまう
もう少し両性具有でいたかったしめやかに買う夜用ナプキン
わたくしが待ってる人は一人だけ白いワンピースはためかせて
あの橋は落ちたよ君が離すから布地ではなく手首を掴む
股下のスナップばちんと留め終わり幼児は突如力士に変わる

（お題提供…泳二）

ひとこと 禪橋とは…とウラりました。楽しいお題ありがとうございました！

藤森岬

虫籠、或いは自由。

とりあえず三食保障おやつ付き安心快適ここは虫籠
やさしさの殻おかわれてまどろんで幼き虫はしばし夢見る
生温い闇に蛍火またたくを見ないふりしてごまかすのまだ
ためらへるままに星を追い走り出すやさしき牢の脱走者
もっと高くもっと高くと言いつ聞きすあと少しで届くはず空に
夜空の隅の屑星にさえなれぬまま流れ落ちるかあの蛍は

（お題提供…最寄急ぎ）

ひとこと 虫について真剣に考え続けた1ヶ月でした。

文月葉

この世から私が消えた日

窓に射る朝の光がそこに私が溢れ私しか無い
ここにある私がドアを開けた時私と言う名が風に散る
この街は私の香り知っている街の一部と消えるはずなく
風となり駆け抜ける道清々しおはようの声君に届かず
この辺りいつも通ったこの場所でもいつもの猫も欠伸している
1人消え2人消えても朝は来るそして8時2分の電車も来る朝

（お題提供…知己 凛）

ひとこと 楽しく参加させていただきました。知己 凛さん有難う御座います。

二三川練

角を曲がって3分ダッシュ

この地区の地主はたぶん篠さんで三軒ならぶ篠さんの家
太陽がのぼる場所までまだ遠い濡れた車輪がまきこむ蛙
心音のようにピアノの鳴る店の盗みたいほどビニ傘がある
いつまでも北を指している羅針盤、風見鶏、前ならえのわたしたち
友だちが曲がった道を行きすぎて三分前に逮捕されたり
年月は汽車のごとくに走りぬけやがては鹿をはねるのだから

（お題提供…ふらみらり）

ひとこと 自分からは出てこないタイトルに合わせて作るのが難しかったです。

ふらみらり

ゴリラは獣に含まない

少しずつルール改変されてゆくゴリラは獣に含まないとか
「ありました」「いやなかったよ、それよりもゴリラは獣に含まないって」
ゴリラって獣かなんて言い出してそれが発端もう会いません
南だと信じた方向かいますゴリラが獣か自分で決める
そんなこと言い出したならきりが無いゴリラも獣に含まますから
明日にはきちんと言おうゴリラって獣と思うわたしとしては

（お題提供…なべとびすこ）

ひとこと もっと連作らしくしたのですがこうなっていました。

穂崎円

お箸、二膳ください

コンビニ店舗は蠱毒の虫と同じだと誰か書いてた 青になったよ
捨てるべき場所できちんと捨てられるため開けられる爪楊枝いっぽん
お箸二膳ください。背筋は伸ばしなさい。人間を人間として見なさい。
セルフレジありますというのぼり旗も項垂れぼくらが立つ夢の跡
どうしても魔法が効かない時もあるいつからかある値引きコーナー
再利用しにくいサイズのビニールの袋が鳴ってちよつと明るい

（お題提供…黒川鯨）

ひとこと これはコンビニの場面だと何故か確信していました。

星川郁乃

アノマロカリスだけが友達さ

今夜、月は遠いのだろうまよなかに誰のさみしさも受信せず
スカートの髪に恨みはたたまれてほんとは紺は闇なのです
ナウシカになりたいなんて思ってたたぶんメーヴェが欲しかったんだ
カンブリア紀にもいたはず月の夜をせつなく鳴っていた生き物が
絶滅種図鑑にいつか【人間】と流線型のウサギが記す
アノマロカリスだけが友達なのさ つぶやくわたしの中の少年

（お題提供…薄荷。）

ひとこと 難しかったです。難しかったです。でも同時にとても楽しかったです。

本田葵

わたぼこりでなんとかします

千のわた 原野いっぱいころがってはらったぼこりぎゅつとかためる
わたぼこり 綿の国での役職は内務大臣第二秘書補佐
しらぬいの筑紫の綿のわたぼこり令和を詠みし旅人の家に
われときて聞えヒマな冒険者こい わたぼこり六義園まで
わたぼこりのようにあなたにあなたの心にもそつとしずかにくっついていたい
キーボードのなかに溜まったわたぼこり「A」と「S」の間ちと取りにくい

（お題提供…千原こはぎ）

ひとこと 2回目の参加です。難しかったです。なんとかなってほしいけど。

枅英児

あたたかい犬

黒髪の君にひかれる黒髪がぼくと車に合わせてはねる
強盗の跡があるけど何一つ取られてないし一足増えた
じゃーすばつふつふつばらつとくどくどく カップ麺にも音は流れる
もういいかい、もういいよ、でいなくなり代わりに告げられたみつけた
探し出す隠れる被る受け止める求める黙る壊れる落ちる
缶詰の缶を綺麗に洗い捨てまだあたたかい犬を見ている

（お題提供…犬飼あき）

ひとこと ※この作品はフィクションです。僕の首まで縮まりました。

街田青々

反則

心臓を宇宙に移植した後で告白したら反則ですか
好きな人いる人ばかり好きになる 夜降る雨はずるいと思う
丁寧な文字を書いたらさみしさも愛の言葉も同じ手触り
これもまた喪失感の一つだろう枯れた紫陽花ばかり目につく
火花ならくちづけできたあの夏のきみがぼやけて思い出せない
朝早く起きたら月がまだ出て一人の朝も悪くなかった

（お題提供…白川ユウコ）

ひとこと 反則をいろんな角度で切り取ればきみて溢れている夏でした。



松城ゆき

静岡が立ち塞がる

(お題提供…小泉夜雨)

わたしも祖父の代よりほそぼそときしめん工場を営んでます
ほうとうはきしめんに近うございます。ならば甲府と手を結んでは
甲府へと向かう経路は複雑で何故だか気付けばサイレントヒル
それならばこのおいしさを首都圏へ営業部長が立ちあがります
「きしめんをぜひ全国の方々に」祖父の悲願でございましたし
ひさかたのひかりに乗れば肅々と静岡が立ち塞がる販路

ひとこと
なんか全方面にすみません！って感じです。

まつつ

今日はニンゲン休みます

(お題提供…諏訪灯)

ええあれはふつかほどまえのことでした「あなたニンゲンやすみませんか？」
「いいんですかそんなことしてきられませんか？」「いいんですはいじょうぶ」
「すこしかんがえさせてください」そういうとなにもなかったようなゆうやけ
そのひはなんのまえふれもなくふらりとぼくのなかへとおどされました
「やあ気分はどうだい？」「義務とか責任から解放されていい気分」
でもあしたからまたニンゲンはじめますだってニンゲンすきなんだもん

ひとこと
すてきなお題ありがとうございます！

薫海里

プログラマナイ。

(お題提供…やじこ)

懺悔、僕は今夜も知恵の実にエラーを吐かせ生きてをります
Enterへ振り下ろされる中指の胸骨圧迫めいた焦燥
ヒマラヤの夏が輝く液晶にBOSSの男は眩しげにして
また塔がマザーボードの都市に建つ曖昧すぎる人間のため
いつせいに下界を透かすブラインド そうだな、ここで区切つところか
光あれ 夜の食国の羊へ実行される有明の空

ひとこと
想像力フルスロットルでした。楽しかったです。

まるち

エウロパキッズたちの憂鬱

(お題提供…屋敷亜里子)

深い深い海の底から質量を持たない文字が浮上していく
寂しさに似てるよきみが持っている鋭利なものの寄せつけなさは
どうあがいても太陽系に朝は来てエウロパキッズたちの憂鬱
木星のまわりに落ちていてほしい答え求めてぐるぐるまわる
太陽に向かって伸びるペニテンテ等しくそれは祈りのかたち
希望的観測地点いつだってそこから見える景色が希望

ひとこと
エウロパキッズには元気でいてほしいです。

御糸さち

レジ袋を責めないで

(お題提供…まつつ)

白猫に振り返ったらレジ袋 悪いのは僕じゃないはずだけど
お手拭きはおつけしますか割り箸はおつけしますかあとポイントカー
レジ袋引つたくらわれてその中に入ってるのは犬のふんだよ
パラシュートだって信じて飛び降りる頭上で波の音が聞こえる
レジ袋禁止法案可決され消えてゆくうたかたの猫たち
今までずっとありがどうありがどう猫 悪いのは君じゃないはずだから

ひとこと
みんな！エコバッグは持ったかい！！

三浦なつ

夏風邪と長靴

(お題提供…しんくわ)

失恋は夏風邪のよう長引いてなかなか治らず君に会いたい
治ったら忘れられるの幼き日履いてただろう長靴のように
あなたとは生きて行けない定めならあの島に降る雨になりたい
雨になりやさしくあなたに触れたならそのまま流れて海になりたい
海になりあなたをちゃんと忘れたらこの夢からもさめてゆけるの
この土地で生きてゆくのが定めなら長靴とともに雪と生きてゆく

ひとこと
楽しかったです！素敵なお題ありがとうございます！

深影コトハ

モンドセレクション受賞

(お題提供…落合きり)

モンドセレクション受賞のお土産を無邪気に配る 何も知らずに
暗君のボディタッチも冗談も命日なれば皆がなごやか
戦端は正午ちょうどにひらかれて部署に降り立つ懲戒委員
愛用の回転椅子で全方位見まわしたつてもう敵ばかり
笑いたくない日も笑ってきた女たちが笑わずに見送る最期
肩書でしか威張れない人だった モンドセレクションは美味しかった

ひとこと
こんな方向に行くって自分でもツッコミつつ楽しく詠めました！

みかみ凜

副都心線で帰ります。

(お題提供…ペルセウス座流星群)

昨晚をことごとく映画的にするエンドロールの通勤急行
シュレッターにかける悦楽ちりぢりの契約書ひとつ熱を帯びたり
その昔ペンは風切り羽根だった25階の窓はあかない
ふく【副】2. 原本を写した控へわたしらしく働くわたし
伊達メガネ青く反射す部下一同、時代錯誤と申してをります
羽化ののち蛸は点るどの夜も副都心線で帰ります。

ひとこと
副都心の副ってなんだろう？考えつつ詠めて楽しかったです。

みしまふみ

飲む日焼け止めとランボー

(お題提供…千幸)

日焼けしたら赤くなる人・赤くならず飛び立つ人のための日焼け止め
飲む日焼け止め飲んででも外に出かけずにランボーを観る内側から泣く
先に血を流したのはどっち 反撃は日焼け止めが効くまでは待つ
どんなに爪丸く短く切つたつて傷つけてばかり傷ついてばかり
名作は何年経つても続編を待てるでも君を待つ義理ないこれは人生
忘れるとは死なせることだ何人も何人も死なせた君も死なせる

ひとこと
ランボーの新作が公開されるそうです。怖そうなので観ません。

満島せしん

わたしは三十年後のあなた

(お題提供…沼尻つた子)

「まだ生きとったんやね、わたし。」マルボロを消しつつ言ってくれるわたし
大丈夫だとは到底言えなくてとりあえず火い貸してくれへん？
「お疲れ」とわたしが言って「お疲れ」と返す マルボロこんなまずかつたつけ
仕事、金、土地、親、結婚、相続、全部秘密な。だっておもんないやろ？
おもんないな、おもんないわ、と呟いたわたしがすぐわたしでかなしい
でもおもろいで、人生は。とりあえず猫はずうつといってくれてるし

ひとこと
三十年後もわたしはわたしだろーと思いました。

壬生キヨム

新宿西口、歩道橋の上

(お題提供…せき)

たんぼぼもブラックマンバも見たことがないって顔して歩いている人
進むためにのぼつた階段新宿のよどみをつかまえるよ早朝
ぼくなりに全然すぐくないことをやらなくちゃぼくに嘘をついても
つかまえたよどみをぶんぶん振り回し最上階から捨てる妄想
新宿で 花を 野菜を 育てましょう 創刊号の打ち合わせをする
優秀な超能力者ですれちがう新宿西口、歩道橋の上

ひとこと
新宿西口、バスタが出来てからめつきり行かなくなりまして……。

雅仔

ネズーパーマン vs AK団首領

(お題提供…河村壽仁)

ネズーパーマンとAK団首領 銀河を二つ隔て争う
七十二光年先の故郷は夕日の沈む方向にある
映画紙の子供は今も笑って七年前の夏に生きてる
閃光が一個戦隊呑み尽くすように無音の今日の朝焼け
「どっちみちパラダイスさ」と飛び立って成層圏のつぐみは歌う
決戦の宙には赤い流星が散るんだ たとえ明日が来ずとも

ひとこと
自分では絶対思いつかないテーマで楽しんだり苦しんだり。



宮嶋いつく

極彩色の湖

(お題提供…有村一花)

水晶の小瓶 猿の手 メスカリン マグカップから飛び出すオウム
渦を巻くように時計は回りだし世界の果てに浮かぶ不知火
朝焼けの模様はペイズリー柄で鳥のいない三千世界
七色の天空蝶の群がって嚮嚮はこんなにも白い
白昼夢と真のあわいほら君をわなにかかった貌が見ている
混沌より出でて混沌に還る 極彩色の湖に月

【ひとこと】 美と妖を感じる題で頭に浮かんだテーマはサイケデリックでした。

モカブレンド

かばかば河童

(お題提供…ネコノカナエ)

テレビではかっぱが春夏秋冬の花を頭に咲かせてみせる
お土産でくれた河童のストラップ顔がリアルで少し怖いな
覚えてくれた私の誕生日「何が食べたい？」「お寿司がいいな。」
回らないお寿司屋さんは初めてで遠慮してまずかっぱ巻きから
お土産の河童は高尾山ですか？違うよそれは天狗だよって
履いている kappa の靴が大きくて踵が少しかばかばしてる

【ひとこと】 河童は実在するのでしょうか？

桃生苑子

気まぐれ水族館

(お題提供…土岐友浩)

水かきが急に涼しい離された指のあはひに汗かいてるて
手も足も借り物だから前をゆく人影だけはきちんと踏んだ
餌やれば水面に鯉はくち開きわたしと同じあさましさ見ゆ
ひかりさす水槽に見るクラゲたちかかつてクラゲであったものたち
おまへならこちら側だといふ顔でうろくづ睨むガラスのむかう
気まぐれで人にされたり来世には正しく河童として生まれむ

【ひとこと】 水族館には河童はいないよね……と作った後に気が付きました。

最寄る

フンボルトペンギンと閏年

(お題提供…有村桔梗)

短か夜の月に翳さばペン先は銀に潤ひ静く囁く
月融けの滴り受くる銀板に肩寄せ合はす家族の肖像
ウシユアエア此処に項垂る寡婦たちの祈るが如く居寝るが如く
固執する記憶の中のチエスポオド黒のポオンがキングを刺した
バンドネオンとタンゴのステップが掻き消した夷狄来るの軽た噂
凧の町に地団駄踏んだカピタンは一と夜余るる夏を怒れり

【ひとこと】 初連作(になってるか知らん。南米の閏日は晩夏なのでした。

森尾みづな

豚の細切れ二百グラム

(お題提供…天国ななお)

ライバルは切り落してふ細切れに竹輪が斜にかまへて笑ふ
百グラム百円といふめでたさの二百グラムを買ひ二百円
おんじきを軽くしてあるトレーとも二百グラムの豚をのせめて
半夏生のしる暮れのこる路を帰る豚の細切れ二百グラムと
パセリセージジグソーパズルローズマリー豚の細切れ二百グラムで
細切れに大きめのひとひらもあり詩を書けさうな広さと思ふ

【ひとこと】 結構真剣に豚の細切れと向き合いました。まじめなので。

守賀日奈子

七月に降る雪

(お題提供…三浦なつ)

キャスターが読み上げて直後さらさらと行方不明者数、砂になる
その夏は雪が降ったこと、クラスから男子がひとりいなくなったこと
直ちには影響はないと告げられてクロワッサンの空気美味しい
雪の日の検索エンジン【友達じゃない人 お通夜 どんな顔して】
『えーえんにつきまとわれる靴下が足りないバグと夏の鼻風邪』
スノードーム、割れる利那の逆再生 “あの日”を過ぎて“あの日”の前へ

【ひとこと】 素敵なお題ありがとうございます。

やーるー

固有名詞を入れて詠む

(お題提供…本田葵)

いつ見てもオオゴマダラはゆったりと舞うかのように宙を飛んでる
この僕もそういう風に飛べたらいいな 一つになっても不器用なまま
宙を舞う君から僕は どう見える 這うようにして僕は生きている
もし僕がオオゴマダラになれたら君の元へと飛んでいきたい
この島の風と匂いを引き連れて都会に疲れた君を癒したい
ヒラヒラとオオゴマダラは宙を舞う優しい風を運んでくれる

【ひとこと】 当たったお題がよかったな、て思いました。

やお

雨の日のインドカレー

(お題提供…香村かな)

カレーだし手で喰わねえとか言い出せる 好きだよあんだとあんだのカレーが
チョコレート、コーヒー、蜂蜜、すりりんご 隠し事まみれのあんだのように
男爵とメークインとを間違えて俺の人生みたいに溶けた
雨の中涙まみれで食べるカレー 1960 made in house
元カレーがカレー好き野郎だったから俺はカレーが嫌いになった
戸棚から中途半端な印度カレー 俺はどろける派だよチクショウ!!

【ひとこと】 アスパラをもちもり食べています。感想30字じゃ全然たりないよ

屋敷亜里子

えぼにむ

(お題提供…西淳子)

気がつけば親兄弟の姿なく黒き羽音に怯えさ迷う
ミレニアムベイビーのきみを迎えて始まるプレミアムな日常
そうこぼんてしごとをしてたらしいよごせんぞさまは ぼく？るすばん！
星になるきみをみつけるために買う霊界ショップの望遠鏡
ベテランの看護師のよう点滴を打つスキル※但しネコに限る
僕だけはきみの名で呼ぶあの星を独りよがりの密かなえぼにむ

【ひとこと】 『えぼにも女子』がトレンド入りする夢をみました(うなされた)

やじこ

青春に足を滑らせて

(お題提供…千草融)

シャンプーがちっとも泡立たないので明日あの子に言うのは止める
雨の降る角度でななめ掛けにしたカバンに揺れるいびつなウサギ
登山ではないの 月夜のスケートのようにすべるの 怖がらないで
分けることなんてできないポケットで溶けてしまったチョコの夕立ち
なにひとつ果たせなかつたオオカミが毛皮を脱いでテレビをつける
もう誰もいない静かな教室で青いスケート靴だけが春

【ひとこと】 何もできないからこそ、青春は永遠なのである。えへへ。

悠

盆に返った覆水の憂鬱

(お題提供…西鎮)

水だって手懐けなければこのようにカップの中でキューブになったり
暁の光が桜を染めはじめ緑茶を窓辺に留守番させる
池の中に小指で魚を描く授業「呼んだ名前がいのちになります」
雪白の半紙に滲むこの墨が溶けあう水の過去は白雪
一点の差で水にはなれなくて僕は返れてしまった泥水
菜の花と水菜のパスタを五年目も二枚の皿にふんわりと盛る

【ひとこと】 今年のふんどしも楽しく締められました。ありがとうございます。

結江里香

密閉目蓋のパッキン部分

(お題提供…かず)

眼差しで殺しかねないキスのとき目蓋を閉じるぼくらのルール
別々に閉じた目蓋の裏側で血潮のつくる星座に出会う
ねえ星が流れたよ、見た？死ぬときに流れるらしい、返事して、くれ
ばかみたい薄い目蓋は閉じたってどうせあなたの光に気づく
水着ある？目蓋のパッキン駄目にして涙で水位を上げた海だよ
永遠を誓う指輪と似たひかり密閉目蓋のパッキン部分

【ひとこと】 このお題でなければ生まれない2人の物語を詠めて楽しかったです

佳丘一穂

月を飼う

追いかけてくる満月を振りきれずそつと両手を差し出したのだ
君を住まわせているゆえ特別になったからだでオムレツを焼く
連れてゆきたいのだけれど靴からすこしはみ出してしまふ月虹
引力を持つ天体に触れている 先にわらったほうが負けだよ
てのひらがじんわり熱い 筒状のわたしの中で君がうたえば
上澄みを掬って捨ててうつくしいだけ触れる、今夜は

(お題提供…逢)

好きなお題! どういう切り口で作るか考えるのも楽しかったです!

龍翔

ネクタイをゆるめた君の左手に

ネクタイをゆるめた君の左手にからまる蜘蛛の糸のぎんいろ
よく冷えた炭酸水をグラスへとそそぐみたいにくちづけられて
ほどこれるまで待てなくてわたしからほどいてあげるウインザーノット
さみしさを感じるたびにわたしからほどいてあげるウインザーノット
君とみる月はいつでも明るくてどちらが夜か分からなくなる
ネクタイをきつくむすんであげるときわたしのなかに欠けてゆく月

(お題提供…甘酢)

連作中の「ネクタイ」を「ふんどし」に入れかえなさい。

若枝あらう

評と鏡

評論のようにただしく愛されて「好き」にはいつも理由があった
額縁に入れて飾っていたはずのそれはいつしか壁を侵して
だとしても綺麗に見える壁紙にもつと光を与えたかった
殊更に強い言葉を鏡として、柱を、窓を、組み替えていく
もう戻れない バラバラにされたつてそこには穴が残るのだから
画家だって飾られる場所を選べずに描くでしょう あなたは悪くない

(お題提供…森尾みづな)

解釈に幅を持てるお題だったので楽しかったです!

若紫音佳

たくあんだつて恋をする

気づいたら隣の君がすきだった だつてこんなにもそっくりだから
境目が分からないほど親密にでもシンプルに隣合つてる
明日には離れるのかも皮一枚で繋がった不安げな恋
たくあんだつて恋をする冷蔵庫の片隅で見つからないように
少しでも血色良く見せたくて白米の上で気取つてみせる
しあわせはご飯のおともにも二人だけ選ばれた時、それも君と

(お題提供…はとサブレ)

普段は作らないようなお題で詠めて楽しかったです。

編集後記

さて4年目の「歌人のふんどし」、いかがでしたでしょうか。
今年も個性豊かなふんどしが集まったので、
生まれた連作もまた個性豊かなものが勢揃いしたなあ、という印象でした。
初めての参加の方もたくさんいらっしやつたのがとても嬉しかったです。
ネット上の短歌界隈が元気なのは短歌界全体にとっても良いことのはず。
ふんどし交換を機に、ネットで活動する歌人さんの繋がりがより強固なものになりますように。
来年もまた手を上げてくれる人がいるようなら開催しようと思います!

田中ましる (企画・編集)



お題主

詠み手

読者

読者